

11年度上期市況見通し④

専門家に聞く

下げ要因なく2万5000—2万7000ドル

ニッケル

ニッケルのロンドン金属取引所(LME)相場は現在軟調だが、この先大きく下げるとは思わない。2万5000—2万7000ドルで当面推移するだろう。LME相場は昨年11月から上昇し、2月には2万9000ドルに達した。これはロシア品の搬出上の季節的要因や、新興国需要の依然旺盛によるものだ。投機筋の注目が、中東情勢などで動意付いた原油や為替に向かったため、金属相場全般は動きが弱い。4—6月に限っては現価格帯、あるいは少し軟調になるかもしれない。

ただし需要面では大きな下げ要因はない。中国やインドのステンレス需要は今も堅調で、日欧米も低調なりに大きな落ち込みがあるとは思えない。IT関連向けのニッケル合金材料など、新しい需要も拡大している。

国内外の供給でも、鉱石原料や製錬に関する問題は見当たらない。LME在庫には比較的多い12万トが積み残されているが、決して過剰ではなく弱材料にはならないと思う。



メタルドウ社長
藤田 國廣氏